



東工大社会人教育院主催／蔵前工業会共催講演会

あ し た



～健康長寿への自助努力と環境整備～

8/25
(月)

スポーツ用義足の歴史と機能
～義足スプリンターは人類最速になりうるか?～

保原 浩明 産業技術総合研究所デジタルヒューマン工学研究センター 研究員

9/29
(月)

健康のための“錬筋術”

永富 良一 東北大学大学院医工学研究科 教授

9/1
(月)

こどもの健康と体力 ～これからの日本人を健康に育てるために～

内藤 久士 順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科科長・教授

10/6
(月)

運動と食事のエネルギー収支 ～運動と食事の正しい理解～

林 直亨 東京工業大学大学院社会理工学研究科 教授

9/8
(月)

歩きやすい町と健康

井上 茂 東京医科大学公衆衛生学分野 主任教授

- 時間:18:30～20:30 ■会場:東工大 田町キャンパス・イノベーションセンター 1階 国際会議室(JR田町駅芝浦口徒歩1分)
 ■対象:一般社会人、蔵前工業会会員、東工大学部学生・大学院生、社会人教育院講座受講生・修了生、東工大教職員 ■定員:100名 ■受講料:別記の通り
 ■参加申込み:2014年6月30日(月)午後3時から ■Eメール:jim@koyoiku-in.titech.ac.jp ■電話:03-3454-8867・03-3454-8722
 ■お問い合わせ:〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6 キャンパス・イノベーションセンター 809号室 東京工業大学 社会人教育院
 ■WEBサイト:http://www.koyoiku-in.titech.ac.jp/
 【受講料】 1.一般社会人:講演会1回あたり2,500円/5回一括10,000円
 2.社会人教育院講座受講生・修了生、東工大教職員:講演会1回あたり2,000円/5回一括8,000円
 3.蔵前工業会会員(会費納入者):無料 4.東工大学部学生・大学院生:無料

携帯電話
スマートフォン
からの
お申し込み



社会に出ると、あらためて学びたい自分に気づく。

 東京工業大学 社会人教育院

MESSAGE 開講にあたって

「煙突のあるところ蔵前人あり」と言われるように、本学はわが国産業の発展を、特にものづくりの側面から長きにわたり支えてきました。しかしながら、我が国のものづくりは、ネット社会やグローバル化に必ずしもうまく適応できていたとは言えず、さまざまな文脈でイノベーションの必要性が叫ばれる今日を迎えています。

このような社会状況を背景に、技術革新の著しい進展や産業構造などの変化、および新たな各種ニーズに対応した、社会人の学び直しを推進するため、社会人に対する再教育としての「リカレント教育」が社会から要請されています。

東京工業大学社会人教育院は、明治32年に大隈内閣の閣議決定により設立した東京工業学校附設工業教員養成所附属工業補習学校を発端とする、110年の伝統を有する本学附属科学技術高等学校専攻科を発展的に解消して、2009年に設立されました。リカレント教育の中でも、特に、科学技術が抱える様々な問題に着目し、社会経済的価値提供の観点から、人と技術のかかわりに関する教育を行っております。

本教育院ではこのたび、シリーズ講演会「未来(あした)をつかもう～健康長寿への自助努力と環境整備～」を開催する運びとなりました。8月から10月にかけて毎週月曜日の夕方に行われる講演では、この分野を代表する研究者の皆様にお越しいただき、「スポーツ用義足の歴史と機能」、「こどもの健康と体力」、「歩きやすい町と健康」、「健康のための「錬筋術」」「運動と食事のエネルギー収支」といった様々なテーマで、健康長寿のために自分自身で何ができるかについて考えていきます。

皆様の聴講を心から歓迎いたします。

なお、本講演会は、本学同窓会組織「蔵前工業会」の支援を受けて開催いたします。紙面を借りて感謝の意を表します。



社会人教育院 院長
飯島 淳一

LECTURE SUMMARY 講師紹介と講演要旨

1

8/25
(月)

スポーツ用義足の歴史と機能 ～義足スプリンターは人類最速になりうるか？～

保原 浩明 産業技術総合研究所デジタルヒューマン工学研究センター 研究員

講演概要

カーボン繊維製のスポーツ用義足は下肢切断者の競技レベルを飛躍的に向上させ、ついにはオリンピックに出場する障害者アスリートが誕生した。一方、こうした義足の急速な進化はテクノロジー・ドーピングという新たな問題を現代社会に投げかけた。義足スプリンターは人類最速になりうるか？そしてスポーツ用義足はテクノロジー・ドーピングに該当するのか？当日はスポーツ用義足の成り立ちと機能を概説し、上記問題への答えを探る。

講師略歴

2008年早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了。博士(人間科学)。国立障害者リハビリテーションセンター研究所流動研究員、日本学術振興会特別研究員(PD)、University of Maryland, Research Associateを経て、2013年より(独)産業技術総合研究所デジタルヒューマン工学研究センター研究員。スポーツ用義足の生体力学的評価およびランニング障害の予防に関する研究に従事。2013年に国際バイオメカニクス学会より日本人初のPromising Young Scientist Awardを授与された。



2

9/1
(月)

こどもの健康と体力 ～これからの日本人を健康に育てるために～

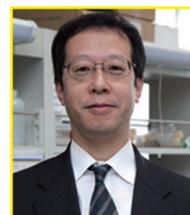
内藤 久士 順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科科長・教授

講演概要

青少年の体力低下が未だ解決しないままに成人の運動不足・体力低下も進行し、国民全体の健康を脅かす問題となっている。一方、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催の決定を受け、運動・スポーツへの関心や期待は益々高まりつつある。本講演では、日本人の体力や運動習慣の現状、特に子どもたちにおけるそれらの特徴を整理し、これからの日本人を健康に育てていくために大人は何をすべきかについて参加者と一緒を考えてみたい。

講師略歴

筑波大学体育専門学群卒業、順天堂大学大学院体育学研究科修士課程修了。常葉学園短期大学講師、順天堂大学体育学部助手、講師、准教授ならびにフロリダ大学運動科学センター客員研究員を歴任し、現職。日本体力医学会、日本体育学会などで学会活動を行う傍ら、文部科学省、日本体育協会、地方公共団体などの運動・スポーツに関わる多数の専門委員を歴任。「運動と蛋白・遺伝子(ナップ)」をはじめ著書多数。



LECTURE GUIDANCE 講演会参加のご案内

講演会当日

- 開場は18時00分(講演会開始30分前)を予定しております。講演が始まる時刻の直前は受付が大変混み合いますので、お早めにお越しください。
- 講演会の時間は予定時間より多少延長・短縮されることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 東工大学部学生・大学院生の方は、受付にて学生証をご提示ください。また、東工大教職員の方は、職員証の提示をお願いいたします。

注意事項

- 有料受講者の方は、申し込み後(WEB等)こちらから連絡いたします。所定の口座への受講料の振り込み確認をもって、正式の申し込みとします。
なお、振込手数料は各自でご負担ください。また、受講料のお支払いは振り込みのみとなります。現金をご持参されても受領いたしませんので、ご注意ください。
- 指定された期間内に受講料が納入されない場合には、申し込みはキャンセルされたものと見なします。
- 各講演会毎に設定された定員に達次第、受付を締め切ります。
- 申し込みされた講座の変更はできません。
- ご入金された受講料は、受講者の方の都合により講演会へ参加されない場合、受講料の返金はいたしません。また地震、台風、その他やむを得ない事情により中止する場合がありますが、その場合には別の日に講演を延期いたしますので、こちらにご参加ください。この場合、受講料の返金はいたしません。
- 講演会の中止、延期がある場合は、申し込みの際に登録された連絡先へお知らせいたします。
- 受講申し込み後、キャンセルされる場合には、早急に問い合わせ先へご連絡ください。
- 当日講演会場へ車でのご来場はご遠慮願います。
- 申込〆切日
参加申込締切日は講演日前週の月曜日となります。なお、参加申込締切日につきましては、変更する場合がありますのでご了承ください。
例：〈講演日〉2014年8月25日(月) 〈申込締切日〉2014年8月18日(月)

APPLICATION METHOD 講演会のお申込について

●平成26年6月30日(月)午後3時より受付開始予定

※満席時に空席を待つ方がいらっしゃいます。参加申込後やむを得ずキャンセルされる場合は、事前にインターネットからのキャンセル処理、または社会人教育院 事務室までメール等にてご連絡くださいますようお願いいたします。

1. パソコン・スマートフォン・携帯電話からのお申込み

- WEBサイトから WEBサイトの手順に従ってお申込みください。(http://www.kyoiku-in.titech.ac.jp/) 東京工業大学WEBサイト→「一般・社会人の方へ」→「社会人教育院バナー」→社会人教育院WEBサイト→「講演会」
- メールから 参加申込書にある項目をお知らせください。
【メール宛先】jim@kyoiku-in.titech.ac.jp

※お申込受付完了後、[info@kyoiku-in.titech.ac.jp]から自動返信メールをお送りします。
・携帯電話のメールアドレスから申し込まれる場合、自動返信メールが受信できるようメール着信設定を行ってください。
・パソコンのメールアドレスから申し込まれる場合、一部のフリーメールには自動返信メールが届かない場合がありますので、ご注意ください。
・自動返信メールは、ネットワークの混雑具合により到着が遅れる場合があります。



2. FAXによるお申込み 下記の参加申込書をお使いください。

【FAX宛先】03-3454-8762



参加申込書			
フリガナ 氏名		年齢 性別	歳 男 女
メールアドレス	@		
現住所・電話番号	〒	電話	- -
職業	〈該当するものに○をつけてください〉 1.会社員 2.公務員 3.教員 4.自営業・自由業 5.学生(高校・大学・大学院・その他) 6.主婦 7.無職 8.その他		
参加希望日に○を記入してください			
〈1〉8月25日(月)	〈2〉9月1日(月)	〈3〉9月8日(月)	
〈4〉9月29日(月)	〈5〉10月6日(月)		
申込区分	〈該当するものに○をつけてください〉 一般社会人 蔵前工業会会員 東工大学部学生・大学院生 社会人教育院講座受講生・修了生 東工大教職員		
蔵前工業会会員、東工大学部学生・大学院生、社会人教育院講座受講生・修了生、東工大教職員の方は以下も記入してください			
蔵前工業会会員	卒業・修了年度		
	在籍していた学部・学科等		
東工大学部学生・大学院生	学籍番号		
	所属(学部/専攻・研究室名)		
社会人教育院講座受講生・修了生	受講番号		
	受講科目/受講年度		
東工大教職員	職員番号		
	所属		

※お申込みいただいた情報は、個人情報に関する法律に基づき管理し、外部に流出しないよう厳重に管理いたします。※今後の講座・講演会の告知をさせていただきますのでご了承ください。